

# 田辺かずき

## 県政報告

古賀発！ただいま  
県政刷新中！

第5号<新春号>  
2012年1月発行  
～田辺かずき事務所～  
〒811-3103 福岡県古賀市  
中央 1-6-41-203  
TEL : 092-692-8510  
FAX : 092-410-7730  
メール : challenge@  
tanabe-kazuki.jp

【裏面も】◎12月議会の  
詳細→農業・障がい・貧困  
◎市内全域で対話集会

# 古賀の「心」を東北の被災地へ！

## 田辺一城の 発信箱

### □新たな年に 走り出す

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨

4月以降、県議として市内全域で計21回の対話集会を開き、地域行事にもおじゃまして、地元の方々の生活現場の声を聞かせていただきました。県内外のさまざまな地域に足を運び、成功事例や教訓を踏まえ、小川洋知事への政策提言につなげています。今年も現場主義の姿勢を貫き、活動



古賀の皆さんが手作りした靴下を被災地に届ける  
＝宮城県石巻市で昨年11月

### □再び被災地・東北へ

昨年11月28日～30日、被災地の東北・宮城県を単身で訪ねました。5月の訪問以来、半年ぶり2回目。今回は福祉施設の実態調査とボランティアでしたが、今回の目的は▽仮設住宅の課題▽がれきの現状▽復興計画の進捗▽水産業の実態――を

知ることに。現地の方々のおかげで、福岡県の将来にとつて参考になる話が聞けました。

### □ぬくもりを届ける

そして、もうひとつの

大事な務めが、古賀の皆さんに託された「思い」を伝えること。靴下118足、マフラー4枚、肩掛け1枚――「東北の冬は寒いだろう」と考えた方々が、昨夏から各家庭に眠っていた毛糸を持ち寄り、手作りしたものを



毛糸の靴下を編む主婦の皆さん＝古賀市内で昨年10月

で、手書きのメッセージが添えられました。私から宮城県石巻市の仮設住宅の方々に手渡ししました。

### □4回目の一般質問へ

12月議会では3回目の一般質問に立ち、①古賀でも盛んなみかん農家の実情を踏まえた実効性ある果樹振興策、②知的障がいなどの早期発見と生活保護行政のあり方――

について知事に問いました。2月議会では、県議が86人いる中、4回連続で一般質問の機会をいただき、予算特別委員会のメンバーにも再び就く予定で。引き続きのご指導をよろしく願います。

## 政治活動を連日発信中！▶▶▶

ブログ(活動日記)  
公式ホームページ

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>  
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>

## 「被災地報告」

今回の訪問地は宮城県の石巻市、東松島市、女川町、南三陸町で、いずれも津波の被害が甚大だった沿岸部。単身でしたが、石巻市の仮設住宅「渡波第2団地」の方のご厚意があり、二日間さまざまな話を聞くことができました。

津波で決壊した堤防の近くで出会った女性は、小学校に避難した当初、飲食ができないうえにトイレが流れないため衛生面が悪化するといった、救援が来るまでの数日間の厳しさを話してくれました。

。教訓は、避難場所への保存用食料の備蓄と被災した場合の排泄ルールの事前の取り決めと言えます。



## 石巻・東松島・女川・南三陸...現場を歩き、話を聞く

また、仮設住宅では、断熱材がないことで冬の寒さ対策が不十分だったり、側溝がないため排水ができなかったりと、事前の備えで対処できる事態が起きていました。

沿岸各地の地盤は明らかに沈下し、海面と陸地がほぼ同じ高さになっていました。満潮になると自宅兼作業場があった場所が浸水する水産加工業の男性は「せめて海の近くで働きたかった」と嘆いていました。

がれきはあちらこちらに山積みされ、周囲は粉じんが舞い、積載したトラックが隊列を成して走っています。一刻も早い処理のため、広域的なサポートが必要だと実感しました。



裏面へ  
つづきます  
↓

